

議会だよりの入善

GIKAI DAYORI NYUZEN



▲ チョッピリ緊張・今日から一年生（上青小）

3月定例会

- ☆ 一般会計の概要……………2P
- ☆ 常任委員会レポート……………4P
- ☆ 平成7年度一般会計補正予算……………6P
- ☆ 一般質問（11議員）……………8P
- ☆ ありやどうなっとるがけ？……………20P
- ☆ 傍聴席からひとこと・視察記……………22P

No.96号

1996年5月1日
(平成8年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
☎0765(72)1100 傳0765(74)0067

を前に2億8689万円 予算化

新世紀への展望を求めて

一般会計 103億8950万円
 予算総額 151億1330万円



完成したアトリエ棟 (下山芸術の森)

3年連続

百億円の大台を超える

3月定例会は、3月8日から21日までの14日間の会期で開かれた。本年度は町民総合計画の後期計画スタートの年であり、21世紀を展望し、3年連続の100億円を超える大型予算となった。あらゆる角度から審議した結果、一部の案件に付帯意見を付け、全ての議案を原案のとおり可決した。

〈歳入の特徴〉

景気の冷え込みから本年度も、町税や地方交付税の伸びに大きく期待できないことから、財政調整基金から3億円、減債基金から4億4000万円をそれぞれ取り崩した。町税は対前年比、1.9%の微増で30億6083万円であり、引き続き厳しい対応を迫られている。町債は、最後の統合校である桃李小学校の建設債に4億4600万円をはじめ土木債の1億6370万円などを合わせて11億2820万円を計上している。

〈歳出の概要〉

歳出については、町民総合計画の後期計画で策定している4つの施策体系に基づき、その概要を説明する。

「笑顔があふれる健康のまち」づくり

〇リーディングプロジェクト推進計画策定事業 (614万円)

保健活動の核となる施設である「ふれあい交流プラザ」整備の計画策定に取り組む。

〇高齢者生きがい対策事業 (4307万円)

〇在宅介護支援事業 (9475万円)

〇ホームヘルプサービス事業 (2510万円)

〇幼児医療費助成 (1049万円)

急速に進む高齢社会に対応して、ミドルステイ事業、介護者手当ての支給をはじめ、在宅介護に重点を置いた施策に力を入れる。

一方、少子化対策にも目を向け、延長保育や幼児医療費の助成など、子供を生育する環境を快適なものにするため、引き続き重点施策として取り組む。

〇福祉施設入所措置費 (3億2045万円)

〇心身障害者福祉事業 (7527万円)

〇老人保健対策事業 (5984万円)

〇体育指導者養成事業 (1705万円)

舟見寿楽死をはじめ、特別養護老人ホームなどへの助成や、障害者福祉事業には従前に増して積極的な施策を展開する。

病気になるないための保健対策には、人的、施策両面から充実を図る。また2000年団体を控えて、体育指導者の養成に力を入れる。

下水道 本格着工

下水道基本計画策定はじまる

「自然を活かし
たつるあいの
まち」づくり

○幹線道路整備事業

(4路線)

(2億5632万円)

○中央通り線整備事業

(4715万円)

○下水道整備事業

(2億8689万円)

○消防団活性化総合整備事業
(1840万円)

○防災対策費

(700万円)

○防犯灯設置事業

(196万円)

防犯灯設置に助成制度を新設した。阪神淡路大震災を教訓に防災計画の見直しと防災訓練を実施する。

「未来にはばたく
活力あるまち」
づくりのために

○新生産調整推進対策事業

(1億2290万円)

○農業に夢を育む事業

(333万円)

○園芸特産振興費

(1175万円)

○商業振興事業

(3197万円)

○園家山周辺整備事業

(4000万円)

産地間競争が激化する農業の安定を計るため、とも補償の推進と低コスト化に重点を置く。特色ある園芸特産振興策として、球根の東部プラント建設に助成する。水稲育苗施設は昨年、飯野地区に続き、浦山新共同施設に助成する。

商工業の活性化対策として、各種融資制度の拡充と商工会が行うポイントカード導入を支援する。

園家山湧水池は、名水の町としてイメージアップを図り、町民憩いの場として提供する。

「香り高い
文化のまち」
づくりのために

○沢スギ林整備活用事業

(1億5749万円)

○下山芸術の森整備事業

(1億3094万円)

○新屋地区公民館整備事業

(1990万円)

○町民会館10周年記念事業

(1958万円)

○小学校教育用コンピューター導入費
(835万円)

○いじめ防止対策費

(161万円)

最後の統合校となる桃李小学校は、平成9年4月の開校を目指す。沢スギ林、下山芸術の森は完成の年として取り組む。

教育現場のソフト事業として情報化時代に対応し、小学生2人に1台の教育用コンピューターを導入する。また、深刻化するいじめ問題に即応するため、専門員を配置し対応する。

○国際交流事業

(1199万円)

○広島平和祈念式小学生派遣事業
(67万円)

○美術品購入費

(3400万円)

○津村謙メモリアルイベント開催委託料
(200万円)

自治省から指定を受けた国際交流都市として、町民参加の交流事業を展開する。新規事業として、次代を担う小学生を世界の恒久平和を希う観点から、広島平和祈念式に派遣する。

美術品購入費は例年、町内関係作家の作品を400万円の範囲で購入しているが、新年度は名誉町民の前田常作氏の作品購入を目的に3000万円を新規計上した。審査の過程で、町民本位の芸術文化政策を透明化するよう付帯意見を付した。

水の小径に隣接して、入善町新屋出身の歌手、津村謙の追悼行事を企画している。



○桃李小学校建設事業
(10億9998万円)

常任委員会レポート

3月15、18、19日の3日間、それぞれ総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託された議案を審議した。特に今回は、新年度予算の審議とあつて白熱した議論を展開し、時間延長した委員会もあった。その要旨を報告する。



▲ 取り壊される旧舟見小学校

総務

将来に備え

緊縮型

長引く経済不況のもと、税収入や地方交付税の伸びが期待できない。従つて、基金の取り崩しや町債借入は慎重にすべきである。

県内旅費

一律五〇〇円アップ

町長等、公用車を利用したの日常の増額は必要か、積算根拠が不明確である。

危険箇所を

再検討せよ

大惨事に備え、町民の防災意識の高揚と危険箇所の再点検、危険予知等に力を注ぐよう要望する。

職員役割分担を明確にし、万が一に備えること。

町有財産の管理

舟見、野中両小学校の跡地の雑草対策を図る。町有財産全般を通じて、施設の点検、火災、盗難に十分留意する。

文教・厚生

新川むつみ園の
支援を予算化

障害者家庭の長年の夢であった増床(30床)に対して、積極的な町の取り組みを評価する。

ミドルステイ制度

を活用せよ

県が今年度から実施する。町は在宅介護者への積極的なPRと活用支援を要望する。

高齢者住宅改善支援事業については、改造のみならず、新築の場合も配慮すべきである。

ディサービスが、いまだに10日に1回である。早急な施設の建設を求める。

子供を生み、
育てやすい
環境を

子供を生み育てることは、保育料を見ても、負担が重すぎる。なんらかの措置が必要である。保育所の今後については、定員減少に併せ、児童館機能等の導入を考えられたい。

3400万円

美術品購入

個人の購入ならいざ知らず、町予算であることを十分考え、予算執行に際しては、慎重に対応すべきである。

入善町助役

五十里智治氏の選任に同意



五十里 智治氏
(入籍5864の5)

平成8年3月31日をもって、青木勇三氏が退任されるので、後任として選任することに同意した。



▲ 増床される新川むつみ園

産業・建設

入善米宣伝は

主婦層に的

ポイント

カードで支援

関東方面をはじめ、大消費地へ向け、直接主婦層を対象とし、米の消費拡大、入善米の販路開拓に期待したい。

端末機一台につき、1/3の補助で45店舗が加盟、商店街の活性化に期待する。



▲ 東町住宅

吉田家購入に

300万円

古い民家の復元は、保存基準等に基づく計画性が必要である。

算定基礎となる参考資料も提出されていない。参考資料の提出を求める。

町営住宅の

改修計画

町営住宅234戸を含め、今後の全体整備計画を策定する。老朽化住宅、中堅所得者層向けの住宅など検討する。

現在の入居者に不便がからないうよう対処されたい。

公共下水道計画

の策定を評価

長年、待ちこがれた下水道工事の着手となる計画策定委託料、3230万円を評価する。浄化センター建設や小摺戸地区の先行工事が順調に進む事を期待する。

左記の意見書を国に提出した

地方自治法第99条第2項

議会は、当該都道府県市町村の公益に関する事件につき意見書を関係行政庁に提出することができる。

住専問題の

徹底究明を求める

国民の怒りは極限に達している。政府は、公的資金の支出を前提とすることなく、事実関係の解明、母体行責任の明確化、金融行政の見直し、大蔵省の機構改革、天下り人事の規制などについて全力をあげ、国民の理解を得るよう努力すべきである。

地方分権の

推進を求める

21世紀を間近に控え、活力に満ちた地域社会の実現が強く求められている今、我が国の中央集権型行政システムをダイナミックに転換し、地方分権体制を確立することは、今や国民的最優先課題である。速やかに実効ある地方分権推進計画を作成のうえ、法の期限内に具体的措置の実現を図るよう要望する。

200海里体制の

確立を求める

自国周辺水域の資源管理を基本とする継続的利用体制を早急に確立することは、今や国民的課題となっている。

200海里の排他的経済水域を全面設定し、漁業に関する管轄権の全行使体制を構築するよう強く要望する。

富山地方務局、

黒東出張所の存続

を求める

同出張所を魚津支局に移管することが明示された。町行政、並びに町民にとって不利益となることは明らかであり、どのような理由であろうと承服できない。

松風団地・47区画が完売

今回の定例会では、1億5570万6000円を追加し、総額が113億7470万5000円とした。

歳入では、特色ある地域づくり推進事業が算入された地方交付税や、償却資産の増による町税が増額となり、財政調整基金からの繰入金、町債を減額した。歳出の主なもの、次のとおりである。



▲ 完売された松風団地

松風団地は47区画を完売したことによる借入金繰上げ償還し事業を整理

(2340万円)

ごみ処理施設建設工事が国の経済対策により増額

(5270万2000円)

ゴミ収集の
変更で町民の
意識変わる

簡易焼却炉、生ごみ処理器などが大幅増

(1411万2000円)

舟見地区の消雪工事が県支出金増による事業促進

(2287万2000円)

景気浮揚と雇用
拡大の起爆剤に
新貸付制度

設備投資額が1億円以上の企業に対し、15年間無利子で貸付ける。

(7500万円)

桃李小学校のクラブハウスを、国の経済対策による前倒しで着工する。

(2079万円)

超低金利時代、
町の財政に
プラス

金利の大幅な低下と借入期間の短縮などによる利子償還金を減額。

(2840万円)

全国議長会

自治功労者として表彰

石川議員が、永年(25年以上在職)町議会議員として地方自治の振興と発展に寄与した功績が認められ、全国町村議会議長会から表彰された。



プロフィール

平成4年7月、富山県町村議会議長会会長、平成5年6月、中日本府県町村議会議長会会長、北信越町村議会議長会会長。

陳情のゆくえ

今定例会に提出された、請願6件、陳情4件の審査結果は次のとおりである。

●富山地方事務局、黒東出張所の存続を求める決議の請願
採択

●高金利の地方債(政府系)の借り替え、及び繰り上げ償還を認めることを求める請願
不採択

主な理由

特例的に認められているが、資金運用上、混乱を避けるためとされている。

入善漁港

改修工事の一部変更

第16回臨時会は、2月22日に開催され、3件の案件が審議された。

専決処分第1号

入善漁港の改修工事は、進捗の過程で工事の見直しが行われ、一部変更を行うもので、変更前、1億124万円から、1億1847万6780円となった。

専決処分第8号

高山県市町村会館管理組合規約の一部を変更するも

ので、会館の移転に伴う所在地の変更である。

議案第1号

農村総合整備事業、舟見地区用水1号線

揚水機製作据付工事請負契約であり、谷江の堤に揚水し、灌漑と消雪用水の確保を図るものである。
(5613万5000円)



▲ 工事が見直される入善漁港

建設省第1回

手作り郷土賞の受賞地を視察

＜沖繩県竹富町＞

人口3470人、40kmの西表島を中心に、16の島からなる。

沖繩本土に次ぐ面積を有し、亜熱帯特有のマングローフ林をはじめ、豊かな自然に恵まれた島である。

行政の中心である役場庁舎が、石垣島にある異例の形態をとっている。

竹富町議会は定数16名であり、議会開催時は当然、泊り込みとなる。

町民の利便性を図るため、現在町の中心街にFAX基地を設置し行政サービスの充実に努めている。

亜熱帯性海洋気候を生かした砂糖きびやバナナップル栽培をはじめ、肉用牛の放牧も盛んである。

近年、本土向けマンゴ、メロンなどの試験栽培も行われるなど、農業が主なる産業である。

環境を生かした水産業も盛んに行われている。

イリオモテ山猫に代表される豊かな自然は、多くの観光客誘致に貢献している。今日では、島の経済を支える重要な産業となりつつある。

昭和21年には、1万人を有した



▲ 竹富町長から説明をうける

人口も若者の離島が多く、急速な減少と高齢化が進んでいる。

川平湾の視察では、エメラルドグリーンの中の広大な珊瑚礁に圧倒される。

河川流域に群生するマングローブの林など後世に伝えたいものである。

竹富町では、住民挙げて環境保護に取り組まれている。

建設省の第1回手作り郷土賞を受賞された所以を伺い知る思いがあった。

産業建設常任委員会
副委員長 東 狐 和

みなさんの請願

● ふれあい交流プラザ建設に関する請願は、地域活性化特別委員会に付託し、閉会中の継続審査とする。

● 住専問題の不良債権処理に国民の税金を使わないことを求める請願は、議員提出議案となるため……………不採択

● 入善町運動公園、陸上競技場の全面改修（全天候型競技場）についての請願……………採択

● 国道450号（横山・栢山新）線の整備と消雪装置に関する請願……………採択

● 町道笹原北線接続農道の町道認定並びに舗装工事と集落排水の改修についての陳情……………採択

● 町道園家西線の拡幅に関する陳情……………採択

● 「核兵器全面禁止、廃絶国際条約締結促進についての意見書」についての陳情……………継続審査

● 定住外国人の地方参政権付与に関する陳情書……………継続審査

主な理由（継続審査2件）

この種の問題は、国政に係わるものであり、地方議会で論議すべきものではないという観点から継続審査とする。

いっぱい質問



▲ けっこうなお点前で……（老人福祉センター）

第17回定例会 11人の議員が登壇

町政を問う

国会が住専処理で混迷する中、3月13、14日の両日にわたって、質問戦を行った。予算議会ということもあって、議員も力が入ったが、町民の関心も高く、傍聴席は補助イスを出す程、盛況だった。主な内容は次のとおりである。

質問で取り上げられた 主な行政課題

- 。 町長の基本姿勢
 - 。 新年度予算の特徴
 - 。 農業の展望と基本施策
 - 。 教育行政の緊急課題
 - 。 防災計画の見直し
 - 。 水博物館の構想と場所
 - 。 体育ゾーンの総仕上げ
 - 。 福祉の充実と在宅サービス、介護システムの充実
 - 。 宇奈月ダム、出し平排砂の問題点
- などについて、当局の対応を迫った。



▲ カラオケ教室（老人福祉センター）

新年度予算の特徴と

歳入確保の考え方を問う

若島 信 行 議員（自民党議員会代表）

町長

「入るを計って出ざるを制する」汗と智慧を出す



▲ 入浴サービスに頑張るホームヘルパー

問 新年度の予算編成にあたり、町長の基本的な考え方と特徴は何か。

また、町税収入など歳入を著実に確保するため、どのような配慮をしたか。
町長 予算編成の基本は、時の経済情勢に照らして根幹が定まる。今日の状況では町税など自主財源、依存財源とも厳しい立場にある。俗に「入るを計って出ざるを制する」の言葉があるが、今こそ、汗と智慧をこぼって成果を上げたい。
特に重点施策として、入善町の将来像を展望し、学校建設の集大成と遅れていた下水道事業の着手に向けた施策に力を注ぎたい。

寝たきりの
実態はどうか

問 高齢者福祉対策は社会全体の問題として、対応が求められている。本町の寝たきりの実態と、民間・行政の連携、支援態勢はどうか。在宅介護支援センターの運営、支援状況を聞きたい。

町長 本町の65歳以上の高齢化率は20%である。1人暮らし老人は300人、老夫婦の数は335世帯となっており、在宅寝たきり老人は70人である。行政の責任でホームヘルパーの充実を考えているが、農協ともタイアップし、対応したい。支援センターは現在、舟



▲ 期待と不安の中でハウスづくり

見寿楽苑に設置し、24時間体制で相談に応じているので活用されたい。

新食糧法下での
指導方針を示せ

問 新食糧法下での本町農業をどのように育成するか。町として、農業の総合計画書、及び実施計画を作成し、併せて新制度に対応した指導方針を伺いたい。
町長 農業は町の基幹産業であるという位置づけを基本に、指導、助成、育成を強化する。

土地改良区の
統合がなぜ、
遅れているか

問 町内土地改良区の統合問題について、進展しない要因はどこにあるのか。
町長 行政側からも推進、指導しているが、一日も早く統合し、機構整備と業務の近代化を資したい。
問 役場庁内の機構改革を実施して効果はどうか。
町長 青木助役、下水道課と用地課を新設し、二課を減じ統合して一年、その効果は十分に発揮されている。



「ふれあい交流プラザ」 建設地の変更はなぜか

東 狐 和 議員 (町民クラブ代表)

町長 広い敷地が必要

問 ふれあい交流プラザ建設は、当初中央通り線の完成に併せて、元町中心街のシンボルとして建設されると聞いていた。いつの時点から建設地が変更になったのか、議会に公式提示はない。

答 当局の一方的な変更は納得できない。政策決定は議会である。議会制民主主義を何と認識しているのか。

町長 ふれあい交流プラザは中央公民館跡地を考えていた。健全な地域振興プロジェクト計画策定委員会に意見を求めた結果、敷地が狭いとの指摘があり、他の場所を考えている。現時点では、町総合体育館周辺が候補地の一つである。

障害者の立場に立った福祉施設の建設を

問 障害者の立場に立った福祉施設を考えているか。

町長 障害者福祉は、常に考えている。将来を見据え、ふれあい交流プラザは健康づくりと福祉の拠点と位置づけるほか、町内外の交流促進を図る場とし、多目的ホールや国際会議室なども整備したい。

ゆとりある教育に
どう取り組んでい
るか

問 小学校におけるオープンスペースの成果と課題について伺いたい。

上原教育長 子供達の学習への意欲と関心を育てていくことが重要である。直ちに成績に反映するものではない。

問 適正規模の学習を行うために教員の定数確保が図られているか。

教育長 T・T体制（1クラスを2名の先生で教える）の配分を果に働きかける。現在3名配置されている。

問 来年開校する桃李小学

校の通学道路の安全対策を聞きたい。

教育長 今年度中に、国道8号線の桐山地内で横断地下道が完成する。

高齢者住宅改修の 貸付制度を充実せよ

問 高齢者の住宅改修に伴う資金貸付制度を充実せよ。

町長 介護機器を備えた高齢者向けのモデルハウスの設置を検討したい。

8年度から要綱をつくり高齢者住宅改善支援事業の利用状況を見て、町独自の支援策を考えたい。

ホームヘルプの充実も図る。



「ふれあい交流プラザ」

建設場所はどこか

『水』



町長

現在計画策定中であるその中で決める。

▲ 街の中心部にぎわう健康センター

問 保健・福祉の拠点施設と位置づけられている「ふれあい交流プラザ」はどのような機能を持つ施設をイメージし推進しているのか。

「交流プラザ」は3つの機能を有する施設

町長 構想については、リディングプロジェクト策定委員会で検討している。主として、3つの機能を有する施設を考えている。

(1) 町民の健康と生きがいを豊かにする活動を支援する健康・福祉センター機能。

(2) 町内外との交流とふれあいを活発にする活動を

支援する交流サロン機能。

(3) イベント部門である多目的ホールや、国際会議もできる会議室・研修室などの共通機能。

この3点を柱として構想を策定するものである。

商店街の活性化と結びつけよ

問 空洞化が進む商店街の活性化という観点から、現在の健康センター周辺での建設は考えられないか。

町長 地域間交流機能を盛り込んだ施設となると、建物の敷地で少なくとも6200㎡程度は必要であり、さらに駐車場スペースを含めると1万5000㎡位は

必要である。

現在の健康センター周辺では、町有地と農協スーパ―、民地を含めても、4100㎡位で無理ではないかと考える。

一つの案としては、総合体育館周辺が考えられる。ふれあい交流プラザの機能の一つである、機能回復を行う場として、運動公園との有機的な連携ができる。

また、精神的な安らぎゾーンである水の小径など、様々な結びつきが想定できる。

いずれにしても、現在リディングプロジェクト計画を策定中であり、その中で建設場所の選定を進めていく考えである。

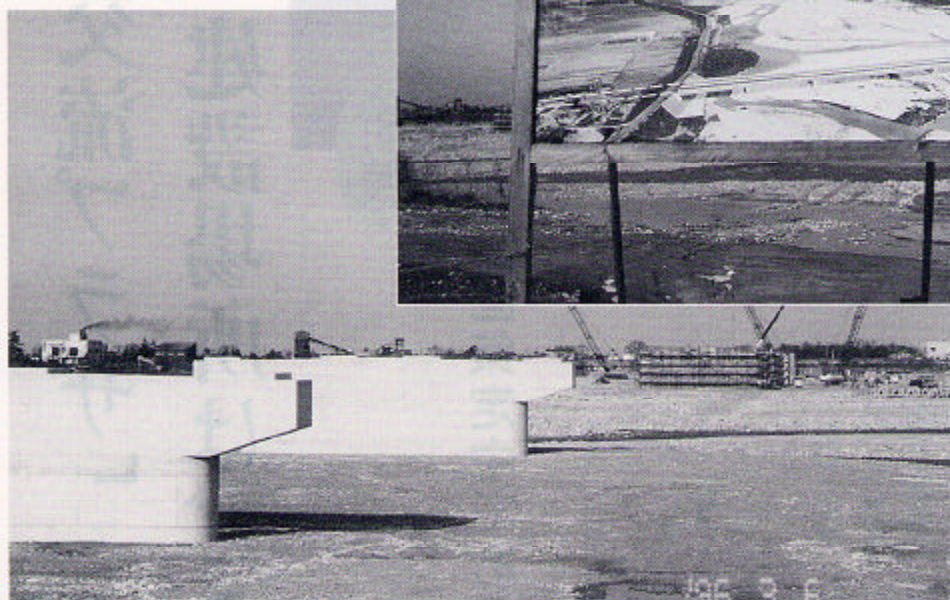
田原 進 議員(自民党)

『水博物館』の基本構想と 建設場所を聞きたい

本多 幸男 議員 (町民クラブ)

町長

「世界に水の発信基地」としたい。
場所は黒部川沿いが有力



▲ 建設が進む橋脚工事

問 本町のキーワードである水、先人の水との関い、治水、親水を想う時、「水博物館」にける期待が大きい。現在、県当局とどのような話を進めているか。

答 扇状地湧水群、掘り抜き井戸、清水川など自然環境を活用し、水研究所を備えた施設にすべきである。基本構想を聞きたい。

問 現段階で建設場所をどこに想定しているか。

答 町長 紆余曲折があったが黒部川を挟んで左岸と右岸に各々、特徴をもった博物館を建設する方向で検討を進めている。事業主体は富山県と新川広域圏の共同で6年以内完成を目指している。

問 町として、扇状地湧水群の名水を世界に発信する基地として位置づけたい。建設場所は、未だ特定できないが、黒部市側の計画と対峙させる観点から、新幹線駅と権蔵橋周辺か、国道8号バイパスの新黒部大橋の出島側と板屋近辺が常識的に想定される。

国道8号の現道 拡幅とバイパス の進み状況は

問 国道8号現道拡幅とバイパス建設の進捗度はどうか。説明会や用地交渉が停滞している区間の対応策と建設省の予算配分等、今後の方針を伺いたい。

町長 建設省に何回も陳情している。今まで呉西に力を入れてきたが、今後は呉東にも重点的に予算を配分したいとの回答を得ている。新黒部大橋の橋脚も6基できつつあり、併行してYKKに通ずる県道と板屋側県道と結び併用開始できるよう全力を傾注し、同時に残る用地交渉も早めたい。

武道館と競技用 プールの建設を 考えよ

問 入善町体育ゾーンの総仕上げの観点から、総合体育館に隣接して武道館と競技用公認プールを建設する計画はないか。また、柔道剣道の指導者を各中学校に配置できるように人事に配慮されたい。

町長 町財政に配慮し、将来的課題として武道館の建設は必要である。水泳競技は現在の町営プールを活用してもらいたい。温水プールは、朝日町に建設中の広域圏ゴミ焼却場の余熱を利用した施設が平成12年に完成するので入善町も利用したい。

若い職員の発想を活かせ

福沢 憲一 議員（自民党）

町長

経験だけで対応できぬ時代

柔軟な発想が重要。



▲ ウラジオストック（ロシア）で研修中の町職員

問 個性豊かな町づくりを進めることは、自からの創意と工夫が必要であり、財政の伸びも期待できない状況下で、新たな発想を中高年の職員に求めることは酷である。

若い職員には、色々なアイデアと発想の転換できる柔軟性もあり、町づくりのため研修視察に出す考えはないか。

町長 中高年の職員は経験は豊かであるが、発想の転換など柔軟性については少し無理になることは仕方がない。

今は社会的な経験だけでは対応できない時代で、従来の研修に加え、これからは若い職員を視察に出し、色々な事例を見たり聞いた

りして、自分の視野を広くすることが必要と考えており、年に5〜6名の若い職員を海外に派遣している。これからも研修視察に出す。

ボランティアによる在宅福祉を提案する

問 若年層が少なくなっている今日、在宅福祉の人材確保は早急に確保できるものではない。その目算はあるか。

そこで提案するが、ボランティアによる在宅福祉としてはどうか。幸い、町に社会福祉協議会があり、そこに委託し、在宅福祉をうける高齢者を利用会員として登録し、掃除・話し相手など幾つかのサービス項目



▲ 「ごっつおさまナ〜」（ボランティアによる給食サービス）

を用意し、利用会員からの申し込みがあると協力会員に割り振る。協力会員の年代は50歳〜60歳代の人達である。

高齢化の問題は、自分自身の問題でもあり、地域の問題として有効な施策と考えるが町長の考えを伺いたい。

町長 提案のボランティアの人達による福祉サービスには、全く同感である。

指摘の社会福祉協議会には、現在876名で27グループがボランティア登録されている。担当課でも提案の実現に向け十分検討していく。

激変するコメ情勢に 的確な情報をもて!

五十里 隆 章 議員 (自 民 党)

助役

世界の爆発的人口増で
食糧不足となろう



▲ 評判がよく、出荷に追われる入善米

問 昨年11月、新食糧法への移行直後から、間髪を留めず、県産コシヒカリの販売合戦が大型店を中心に始まった。また、ウルグアイ・ラウンド合意によるアクセス米の一部であるSBS（先買同時契約方式）輸入されたオーストリア産「ミリン」が10kg3000円で発売される等、米を取りまく情勢が大きく変わりつつある。

町の農政を展開するには国内外の農業情勢を把握しておく必要があると思うがどうか。

町長 新食糧法下では、産地間競争の激化が予想される。

県では農政の基本指針「アグロピア21」を作成、取り組んでいる。農政は厳しい環境下にある。町としては、基幹産業と位置づけしており、精一ぱい取り組んでいく。

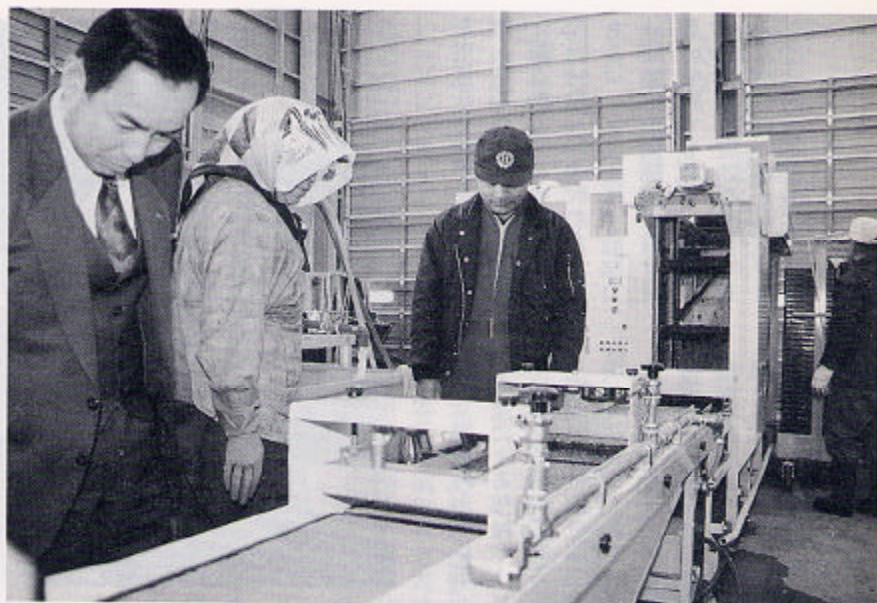
青木助役 農産物は天候の影響を大きく受ける。しかし、現在では天災よりも中国の生活水準の向上、世界の爆発的人口増加が、食糧需給の大きな要因となる。今後、需給が逼迫するのではないか。

一農協・一農場
として営農指導
を強化せよ

問 入善町はかつて良質、多収産地としての実績をもっている。

新技術の導入、営農指導の強化徹底を図り、一農協一農場として取り組むべきでないか。

青木助役 産地間競争、米価の下落などが予想される。より一層、安全、良質が求



▲ 最新鋭機を備えた「ナエテック飯野」

められる。

一町一農場と考え、農協と連携、営農指導を強化していく。

問 安定した経営体（中核農家、後継者対策等）の育成が急がれる。施策の効率化、強化策をどう考えているか。

直播きの普及と
酒米生産にとり
くむ

青木助役 農地の流動化、集積を図るための予算を計上している。

県が直播き品種の作出に成功した。直播き技術の確立、普及に期待したい。

入善の地酒「水笑楽」の評判がよく、酒米生産にも取り組む。

販売戦略として、本年度からは、首都圏の主婦層を対象に交流事業を行う。



町長

▲ 活用が待たれる旧野中小学校

旧野中小学校の活用を問う

西尾 政 巳 議員（自民党）

（仮称）農村活性化センター

として利用したい

交差点

改良計画は

問 交通事故の大半は交差点で起きている。危険度の高い交差点の改良計画はあるか。

町長 県にも要請し、不安な交差点を順次改良したい。

少子化対策

の考えは

あるか

問 生涯教育の一環として少子化対策の考えはあるか。上原教育長 個人の価値感の差であり、後世のための自覚が必要である。

問 女性係を設けたが少子化対策を検討しているか。平崎企画財政課長 男女共同参画社会の実現や3月中旬にできあがる女性プランの中にも少子化対策を取り入れた。

問 野中地区発展のシンボルになるような施設にしたいという地区の要望に対し、町当局の基本構想を問う。

町長 農特産物加工や都市と農村との交流のための宿泊施設に出来ればしたい。

問 野中地区活性化委員会からの意見や要望に対し、今まで返答がなかったのはなぜか。

町長 地元と意見交換を十分にし、一年から二年かけじっくり煮つめて完全な施設にしたい。

問 舟見地区の通称、大川は流れが速く、川にふたをした事により、トンネルに吸い込まれる構造になっている。幼児が流れると一大事だが安全策を問う。

島瀬建設課長 順次、安全柵を設置する。

高齢社会には 笑顔が何よりのプレゼント

広瀬 喜代志 議員 (自民党)

町長 あなたもユーモアコンサルタントに



▲ 人生、笑いが一番

問 国勢調査速報から見る入善町の将来展望と活性化への方向について問う。

町長 国勢調査の結果は人口2万8886人であった。減少分は長期入院や出張、大学生などの移動によるものが主たるものだが、地方交付税の交付の基礎になるので、今後とも住宅政策や魅力ある町づくりを全力で傾注したい。

問 柚木町政を推進した中で一番印象に残っている事業は何か。

町民会館を
今の場所に選んで
よかった

町長 ハード面とソフト面それぞれあるが、ハード面では町民会館を現在の場所に選定して良かった。ソフト面では、水の豊富な地域でもあるが、町民がこの地を訪れることによって、安らぎを憶える地でありたいと心を込めて作った。また総合体育館や下山芸術の森など心の健康、身体の健康、経済の健康を大切に、今後努力したい。

高齢社会には
ユーモアコンサル
タントを

問 高齢者の笑顔や住んでいて良かったと思う町づくりには、ユーモアコンサルタントが必要だと思うがどうか。

町長 笑顔の多い人生は高齢化社会や町民全体にとっても大切であり、ユーモアコンサルタントの必要性は十分理解できるので検討したい。あなたもユーモアコンサルタントの資質がありぜひ協力願いたい。

問 生産人口の雇用対策を円滑にするために、どのような施策を考えられるか。

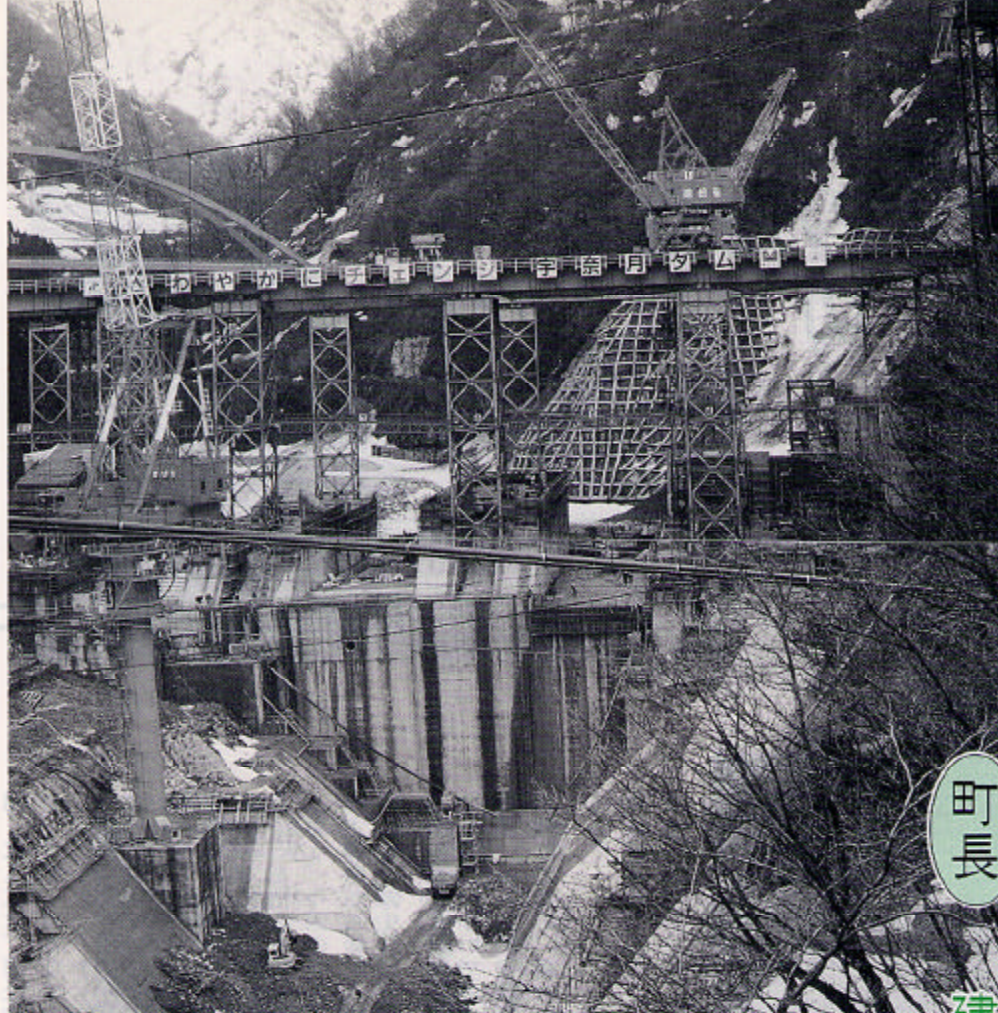
町長 職員には、常に話しているのだが、時代に即応した見識を持つて住民の幸福を追い求めることが大切であり、地域性を十分考えて新規雇用につながる施策を開発しなければならない。

宇奈月ダム建設の中止を求めよ

九里 郁子議員（日本共産党）

町長

建設省が判断する



▲ 建設中の宇奈月ダム

問 住専処理は母体行の責任で行うのが道理である。公的資金導入の見解を問う。
町長 確信をもって言える方法はもたない。
問 宇奈月ダムを水源とする上水道計画は二市三町にはない。多目的ダムとしての必要性がなくなっている。宇奈月ダム建設の中止を求めよう要求する。
町長 最終的には、建設省が判断する。上水道計画はない。仮に宇奈月ダムの水を利用すると、蛇口では、当たり500円から600円位になり、誰も使ってくれないと思う。
前宇奈月町長の話では、「水はいらないが果が印を押ししてくれというので押し」た」ということだった。
問 舟川ダム建設は徹底し

た影響調査の上で検討せよ。
町長 今後3年間程は調査すると思う。地元などの意見を聞く機会をもちたい。
納税貯蓄組合の
ありかたはこれでいいか
問 納税貯蓄組合は、ブライシーの侵害や、町内の和を壊しかねない場合もあるのではと危惧している。
納税貯蓄組合のありかたをどう考えているか。
町長 口座振替率も高く、納税率が県下で高いのも関係者の努力の成果である。
ブライシーの保護には十分配慮したい。
問 断水を繰り返す、町営舟見簡易水道の抜本的対策を求めろ。
町長 水の問題であり迷惑

のかからぬよう、根本的な対応をしたい。
ボートピア
建設中止を申し入れよ
問 場外舟券売場ボートピア建設は明るく健全な「まちづくり」に相反するとして各地で反対されている。「半径30kmを対象」として、朝日町に中止を申し入れるよう求める。
町長 事態の推移には関心を持つているが、中止を申し入れるつもりはない。
「介護保険」のあり方を問う
問 「介護保険」は少なくとも、次の五つの条件が満たされることが必要である。
①在宅介護と施設介護の両面で抜本的に充実②措置制度を併存③保険料は定率とし公正をはかる④高齢者医療、障害者介護の前進に役立つもの⑤消費税と連結させない。
「介護保険」のあり方について見解を問う。
町長 審議中であるが、もし市町村がやることになる第二の国保にならないか心配している。

成人式の運営を 切りかえたのはなぜか

大林 政雄 議員 (自民党)

町長

新成人の自主性と

簡素化に配慮した



▲ 本格整備が待たれる陸上競技場

問 成人式は、国民的行事の一つで、おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする若者を祝い、励ますことを目的としている。同時に、地域社会の関係者との重要な接点の一つであることを悟らせる場であると思う。今回の成人式は、町主導型から新成人や青年団主導に切りかえたのはなぜか。煩わしさからの逃避でなければ幸いである。

町長 成人式の意義はお説の通りである。種々のアン

ケート等によると、今の若者は形式と長時間の束縛を嫌う風潮がある。彼らの意向も汲み、簡素化を図った。上原教育長 若干つけ加えれば、総理府通達を尊重した。手抜きでなく、会合を重ね、彼らの意見を汲みあげた。さらに検討を加え、若者の自主性を引き出し、地域活動の活性化につなげたい。

問 新成人の意見は大いに汲みあげるべきと思うが、主客転倒にならないか。隣接市町に比べ、本町は簡略すぎないか。町民憲章や交通安全宣言の朗読、来賓の祝辞や関係者の紹介などがあって然るべきと考える。

町長 言われる通りである。立場により意見の分かれる点もあるが、改めるべきは改めたい。

運動公園の 抜本的改修を

問 町民の健康維持と体位向上を図るには、スポーツ活動の場の整備が必須の条件である。民間施設が不十分な現状では、公的施設の充実が急務と考えるがどうか。

町長 ご高説の通りである。

問 総合体育館と学校体育館の整備充実が図られ、屋内スポーツの場は一応よしとされる。

新年度施策方針には運動公園一帯の整備に取り組む姿勢が示されたことは、正鵠を射た指針として、評価と賛意を惜しまないところであるが、20有余年を経過し施設の老朽化とあいまって排水不良のため、陸上、



野球、テニス、相撲などに不便をかこっている。勸入善町体協役員、22種目協会長の連名で運動公園周辺整備の請願が提出された。町民の負託に応えられたい。

町長 請願の主旨は尊重したい。町体協長としてスポーツ振興に尽力を賜り、感謝にたえない。2000年団体を控え、財政の許す限り真剣に対応したい。

防災計画の見直しは進んでいるか

三賀総務課長

地震対策も含めて見直している

岡島 功議員(自民党)



▲ 消火栓を点検する消防署員

火気厳禁

問 九月議会における答弁で3月をメドに防災計画の見直しを図るとの事だったが、その進捗状況を示されたい。

三賀総務課長 震災対策を中心に見直しをかけているところであり、今年度中に出来上がる予定である。

初動体制、職員の動員を重点に見直しているが、結果を町の防災会議に報告すると共に、今後も県、関係機関と協議し見直していきたい。

防災無線については、棚山、上原、新屋の3地区で整備されているが、今後共、個別受信機を中心に設置を進めていきたい。

消雪用井戸の活用について

問 消雪用井戸を防火用水や飲料水への利用を検討できないか示されたい。

上野消防署長 富山市では二カ所設置しているが、防災計画等に基づいて今後、検討していきたい。

排砂データの信頼性は

信頼性は

問 昨年10月の緊急排砂のデータによれば、20万㎡の海域への流出予想が、87万㎡と4・35倍にも達したが、町長の考え方を示されたい。

町長 緊急性を考慮した場合、やむを得ない結果に思われる。データの数字だけに頼る事なく、実態を見きわめて対応策を考えていきたい。

島瀬建設課長 建設省の方針として、土砂は自然流下にかかすと共に、川木等はチップにして処分するとの事である。

今後の

ダム排砂は

問 出し平ダム、宇奈月ダムの審議会委員であり、同時に町長として、今後の排砂について、どのように対応していくのか示されたい。

町長 県の方針なども含め今後3カ年にわたって固定魚、回遊魚等の調査を行い排砂方法、時期や回数、排砂量の検討等を行い、河川や海域への被害のないよう対応していきたい。

なつとるがけ？

今年の除雪費は
いくらぐらい
やったがけ



▲ 10年ぶりの大雪に威力を発揮する小型除雪機

問1 除雪する道路ちや、どれくらいあるがけ。

答 町道総延長は4.50 kmあり、そのうち除雪対象は2.10 kmである。

37業者に委託しているのが1.45 km、町直接が16 km、9中核農家に委託しているのが49 kmである。

問2 費用はいくらにかかったがけ。

答 委託料が41.85万、31.99万、修繕燃料費など9.96万、13.8万(3月現在)、総額51.81万3337円。除雪出動日数は33日。

地下水汚染は
(1.1.1トリクロロエタン)
どうなったけ

答 平成7年度中に目川地区で4回調査。2月の調査では1カ所も検出されなかった。田中地区は1度も検出されなかった。

安心して飲める地下水の保全のため、今後とも引き続き調査する。

小学校の跡地は
どうするがけ

- (1) 旧丹見小学校
8年度中に全部取り壊す。土地所有者の了解が得られれば、公共施設等を検討したい。現公園は充実する。
- (2) 旧野中小学校
農村活性化センターの9年度建設に向け、8年度は調査し、地元と協議する。
- (3) 旧山小学校
地元と十分協議し、将来に悔いを残さないような施設を検討したい。
- (4) 横山小学校
労働省関係の勤労者体育館を建設したい。

なぜなぜ問

ありがとう

町が予定している機能別面積などはつぎの通り。

健康・福祉センター機能	1,400㎡
交流機能	1,700㎡
共通機能	3,100㎡
計	(6,200) 5,000㎡
駐車場	7,600㎡
その他	2,400㎡
合計	15,000㎡

答 健康診査・機能回復訓練や保健指導・ボランテニアなどの健康・福祉センター機能部門。水や香りを生かしたりラックス療法により心と体の健康づくり、24

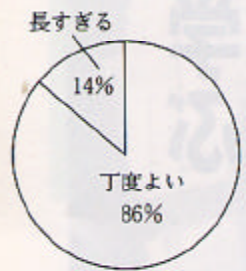
問 施設の内容がちゃいがかい、どこに建つがけ。
答 平成7年度に自治省のリーディング・プロジェクトの指定を受けた「入善・扇状地文化むらプロジェクト」の中心施設。

ふれあい交流プラザちゃんにけ

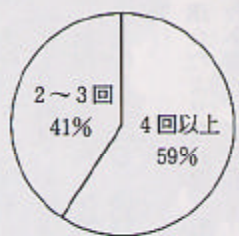
3月26日、開催した議会地域活性化対策特別委員会では、「財政的に維持できるか」「行政がここまでやる必要があるか」などの意見が出された。

時間開放型小研修室、名水喫茶、国際交流など交流サロン機能。多目的ホールや会議研修室、イベント広場など共通機能の3部門で今後具体的に構想をまとめていく。建設地は、健康センター周辺と総合体育館隣接地の2カ所を検討している。

傍聴者のみなさんに聞いてみました

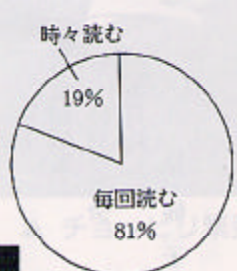
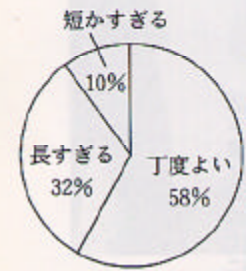


(2) 質問や答弁の時間は……

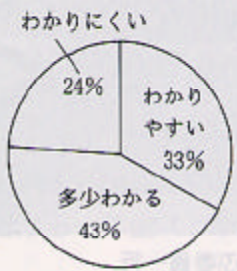


(1) 傍聴によく来られますか

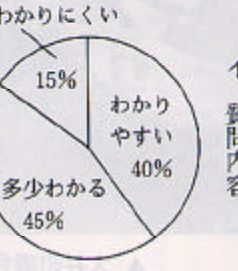
最近、議会の傍聴が増えた。町政に対する関心が高まる事は喜ばしい。編集委員会で傍聴者の皆さんからアンケートをお寄せ頂いた。以下、内容を紹介します。



(4) 「議会だより」を読まれますか



(3) 質問や答弁の内容は……



(5) 議会に対する要望、意見



3月議会の傍聴者 (延べ124名)

- (6) 議場で感じたことは……
- ・議員は一生懸命の感じ。
 - ・傍聴席が暗い。
 - ・議員に欠席者がいた。全員出席すべき。
 - ・本会議中、議員の出入りや会話が気になる。
 - ・マイクが聴きにくい。
- ◎ 今回のアンケートは、22人と人数は少なかったが、一定の傾向が示されたものと受け止め、今後の議会活動の糧とします。

- ・質問に対し答弁が的確でない。
- ・委員会を傍聴したい。
- ・団体で来ると受け付けが混雑するので一考を。
- ・質問者の調査が足りない。
- ・答弁はもっと短かく、わかり易く。

親しまれる

議会だよりをつくりたい

先進地・大井町に学ぶ

(埼玉県)

「読んでもらえる議会だよりをつくりたい」と、議会だよりを編集する私たちは、2月19・20日、埼玉県大井町を視察した。

「おい町議会だより」は、町村議会広報全国コンクールで、最優秀、優秀、入選など連続9回受賞している。

編集方針は、住民と議会のパイプ役との考えから審議過程(質疑、討論)をできるだけ簡潔に掲載する。読んでもらえる広報にするため、住民に直接関係の深いものを中心にす。

特徴点は、(1) 定例会終了後、翌月の15日発行。(2) レイアウトから、原稿作成、写真撮影にいたるまで議員自らの手づくりによる自主編集。(3) 「開かれた議会」として審議状況等を積極的に広く住民に知らせるため、おい町議会だよりを発行する」ことを目的に議会広報発行条例を制定。

(4) 議会だよりに関するアンケート調査を2回実施(5) 創刊10周年および議会史発行を記念し、復刻版発行。

議会だより発行を、町の行政事務として位置づけた議会広報発行条例の制定について検討する価値がある。

議会広報編集

特別委員会

副委員長

九里 郁子

編集の窓

◆10年ぶりの大雪も百武すい星とともに陽春を迎えた。春の大雪にもめげず成長する稲苗を見るにつけ、産地間競争に打ち勝つ、夢のもてる基幹産業を願わずにはおれない。

◆新年度予算が決まり、後期総合計画がスタートした。今年、町民期待の下水道本格着工を前にした浄化センターの位置づけなど重要な年となる。後世に悔いを残さぬよう精魂傾けて取り組みたい。

◆役場正面を自動化して車椅子でも容易に出入りでき町民がゆったりとくつろげるサロン風に大改造した。併せて、正面両脇に身障者専用の駐車レーンを設置した。即実行を評価する。

◆私たち編集委員は、今回の発行をもって最後になります。ご協力ありがとうございました。

- ◆議会広報編集特別委員会
- 委員長 板川清治
- 副委員長 九里郁子
- 委員 福沢憲一
- 委員 本多幸男
- 委員 早川誠一
- 委員 五十里隆章

傍聴席からひとこと



大橋 美椰子 さん

今年三月、他市で行われた女性議会を拝聴致しました。我が町の議場は、それに比べて近代化され、明るい雰囲気、好感がもたれます。時間の制約もあり、質問する方も答弁する方も大変難しいと思いますが、毎回良く勉強され、検討された努力の結果が伝わってまいります。何回か傍聴すると、同じ様な質疑応答が繰り返えされている様に聞こえる事があります。

国会レベルの質疑応答ではなく、町民のニーズに添え、深く掘り下げた進歩のある応答を期待致します。また、私達も、私達の代弁者である議員に対して、地域における様々な問題点を提供し、より良く住みやすい町づくりのために努力すべきではないでしょうか。最後に、傍聴席への階段は体の不自由な人にもやさしい工夫をお願いします。



▲ 大井町議会にまなぶ委員一行